

# ウムチョ ムゥイーザ通信 No. 37

ルワンダ語で「良い文化学園」の意味を表します。

「はじめまして」



現地NPO法人「ADESOC」スタッフ ミッシェル

はじめまして、私はウムチョムゥイーザ学園の運営母体であるNPO法人「ADESOC」スタッフのJean Michel MANIRAGABAと言います。ルイズ叔母さんの姉の子で、父はウムチョムゥイーザ学園の校長をしております。さらに、私は以前ルイズ叔母さんの家にホームステイさせていただいて、福島県内の大学で建築を学ばさせていただきました。日本滞在中はたくさんの方々にお世話になったことに感謝しております。

さて、今年1月より日本の皆様の支援をもとに、これから建設しようとしている技術学校のために、日本で学んだ建築の知識を活かして学校建設計画に携わらせていただいております。



ルワンダの生活用水は依然非衛生的で、地方の給水率の低さから、湧き水への長時間の水汲みなどによる子ども達の中学校終業率の低さをまねいており、さらに安全な水供給による乳幼児死亡率や消化器感染症罹患率改善のために、水環境技術者を育成することはとてもニーズにかなっていることと考えます。そのために、まずウムチョムゥイーザ学園内に職業能力開発校を建設し水道技術を教える先生の育成をはじめることと一緒に取り組んでいきたいと思っております。

今は学園に通って、日本で学んだ建築を活かして技術学校の設計をしています。2012年8月からルワンダに滞在しているルワンダの教育を考える会の理事である斎藤照子さんと学園で日本語で話せることも楽しい毎日です。照子さんもルワンダ語を学びながら1月から子ども達に音楽の楽しさを教えてくださっています。

日本語を学んだことを活かしてウムチョムゥイーザ学園とルワンダの教育を考える会の架け橋になれるように精一杯頑張りたいと思っております。どうぞこれからもよろしく申し上げます。



2009年に描いた将来のウムチョムゥイーザ学園



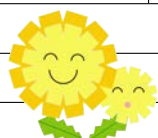
ウムチョムゥイーザ学園

ウムチヨムイーザ学園の会計報告 2013年度3学期(8月~10月)

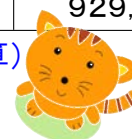
学費の納入状況の報告

\*2013/12/31現在時価換算による。

納入状況	幼稚園			小学校						合計	金額
	年少	年中	年長	1年	2年	3年	4年	5年	6年		
100%	12	16	14	8	12	14	12	12	9	109	1,076,960
その他	1	4	6	3	5	7	1	3	1	31	138,060
0%	7	4	12	10	6	5	11	14	8	77	0
合計	20	24	32	21	23	26	24	29	18	217	1,215,020
予算額											2,144,040
不足金額(日本からの支援額)											929,020



(1人あたり=65,000ルワンダフランを約9,880円に換算)



2013年8月12日~12月31日会計報告

〔収入〕

〔支出〕

円換算

項目	金額	項目	金額	項目	金額
学費	1,487,150	職員への給料	1,310,820	施設維持費	393,194
入学登録料	2,736	諸手当	69,164	保健衛生費	47,977
パソコン教室収入	2,280	税金	195,098	備品購入費	0
バス運行収入	0	研修費	560,967	建設費	579,794
水販売収入	2,798	給食	57,970	予定外支出	128,156
家畜収入(やぎ・うさぎ)	0	光熱費	31,356	銀行利子	52,917
多目的室貸し等収入	250,748	通信費	35,220	職員へ前貸し	5,320
日本からの支援	2,188,470	印刷費	75,387	定期預金	250,809
個人寄付	9,880	バス維持費	149,239		
補助金	0	会議費	32,096		
繰越金	442,438				
		小計	2,517,317	小計	1,458,167
合計	4,386,500			合計	3,975,484

残金 411,016

1月9日1学期251名で始まりました。

34名増えました!

照子さんの音楽の授業を楽しみにしています。



# てるちゃん日記

ルワンダでは「Izuba」(ルワンダ語で「太陽」)と呼ばれている照子さん(当会理事斎藤照子 2012年8月28日からルワンダ在住)の近況をお知らせします。一緒にルワンダで生活している気分を味わってください。



皆さん、こんにちは！お元気ですか？

先回、お伝えしたように、本格的な活動の一つとして1月から幼稚園年長クラスと小学1年クラスの授業を始めました。音楽のカリキュラムも、教科書もないので、その分自由に授業ができます。

まだ言葉が不自由なため、クラス担任教師が補佐してくれるので、それなら子供たちと一緒に先生も教えてしまおうと、私の授業をマネしてもらいどんどん教えることに参加してもらって、来年は先生が中心になって、その補佐役を私がするという計画でおります。「ピアノを教えてほしい」という先生の要望に応じて、教えることも始めました。



日本から取り寄せたカスタネット、鈴、タンバリン等を用いてのリズム学習は、子供たちが大好きで元気いっぱい鳴らすので、他の授業の邪魔にならないかと気になりますが、毎日ではないので「お許しのほど」と、みんなで一緒に楽しんでおります。

この他、会の現地駐在理事の仕事も始めました。これに加えて思いがけないチャンスを与えて頂きましたので、そのチャンスを実らせるために、全力で励んでおります。

「そのチャンスとは？」

昨年夏、ルワンダ日本大使館に参事官としてドイツから転任して来た方の奥様がなんと、芸大音楽科卒の現役バリバリのプロのソプラノ歌手で、その方の伴奏を大使館から依頼されたことです。

武蔵野音大時代から伴奏経験はなく、50年近くピアノに縁遠い生活をしていたので、当初はためらいました。しかし、表立った活動をしないと決めた期間でも、学校からレンタルしたピアノで毎日2時間ほど、集中して練習していたので、いつの間にか譜面を読み取る脳の働くと、指の動きが目を覚ましたように蘇って、何十年ものブランクを埋めておりました。そのために、ご本人の勧めもあって、得がたいチャンスにトライする事にしたのです。

2月28日、学校で行われる大使館主催の「JAPANESE DAY」と、5月初旬、大使館で行われるレセプションで、日本歌曲6曲の伴奏をさせていただきます。

75歳にして、それもルワンダでこのような事があるとは、当の私が最も驚くと共に感謝しております。5月5日生まれの私は、その時76歳になっているかもしれません。皆さんも「もう、トシだから」などと思わず、日々を楽しく生き生きと過ごして参りましょう！！



それでは、また。お元気で…… IZUBA照子



2014.2.13

—お知らせ—

学園建設・運営から13年になりますが、授業料の払えない子ども達も払える払えないかではなく先着順で受け入れているため、先生方への給料等運営には日本からの支援に頼っているのが現状です。

学園には、自立できる道を努力していただいています、趣旨を御理解いただき今後とも支援をお願いします。

正会員年5,000円賛助会員年10,000円を随時募集しております。ぜひ活動にご参加ください。

月一口500円からのご寄付も100人を目標に募集しています。申込み用紙は当会ホームページにも掲載しております。



# ルワンダ MARABA コーヒー

商品名 ルワンダ マラバ コーヒー

200g

1個 1,200円

最小購入個数 5個

本会メールにて受付中 [info@rwanda-npo.org](mailto:info@rwanda-npo.org)

## ウムチョムイーザ学園小学校卒業生から日本の皆様へ



小学校卒業の時描いた将来の職業

初めてのウムチョムイーザ学園入学生である私たち18名は、2007年に小学校を卒業し、2013年今回高校卒業国家試験を14名が受けることができました。残念ながら現実は厳しく4名が留年等卒業できませんでした。4名の方も未来が平和であることを祈って、夢に向かって頑張ります。

これまで支えてくださった日本の皆様へ感謝します。

ジャクリーネ  
女 13歳  
ITの技術者

イヴェーテ  
女 15歳  
医者

クロードウ  
男 18歳  
技術者

マルティエネ  
女 13歳  
ジャーナリスト

サムソン  
男 13歳  
会計士

3歳

## お茶会で心のふれあい

二本松市平石仮設住宅住民一同

今年も、NPO法人ルワンダの教育を考える会による「お茶会」が開かれました。

私たちは、2011年3月11日の東日本大震災と福島原子力発電所の爆発事故から避難して、3年目を迎えました。避難当時、私たちは混乱の中、公共施設(体育館など)や知人・親戚・旅館など避難先での生活を繰り返し、2011年7月頃に、現在の仮設住宅(福島県二本松市の旧平石小学校跡地)に移りました。

現在は、福島県双葉郡浪江町の住民48世帯(約100人)が生活しております。

NPO法人ルワンダの教育を考える会さん支援による最初のお茶会は、2012年4月頃から行われました。初めてのお茶会では、ルイズさんの流ちょうな日本語に、みんなびっくりしていました。ルイズさんが、ルワンダ紛争・避難の状況・避難生活の体験・



日本への留学等現在に至った経緯についてお話をしてくださいました。それから、今日まで、毎回、ルイズさんをはじめ、多くの支援関係者による心温まるサポートやご支援には、仮設住民みんなが、大変感謝しております。現在ルワンダで孤軍奮闘頑張っておられますIZUBA照子さんにも、ルワンダへ赴任される前に、ご支援に来てくださいました。(その際は、大変ありがとうございました。)

最初は、お互い遠慮しながらのお茶会でしたが、会を重ねるごとに、心が開かれ和気あいあいの、お茶会になりました。これまでのお茶会での楽しい思い出は、たくさんあります。ルワンダのコーヒー・紅茶を飲みながら、歌を歌ったり踊ったりゲームを行ったり、音楽を聴いたり、また、焼肉パーティや、みんなで作って食べたルワンダ料理などは、忘れられない体験になりました。このような楽しいお茶会は、私たちにとって、ふるさとを離れ慣れない生活の中でほっとするひと時を過ごすことができ、大変ありがたいことです。



今後、仮設住宅の状況は少しずつ変化してゆくとお思います。最近、新たな地域で生活を始めた人や住む場所を決めた家族など、少しずつ仮設住宅から退去する世帯が出てくるようになりました。しかし、NPO法人ルワンダの教育を考える会とのお茶会の思い出は、この仮設を去っても、みなさんの心に貴重な思い出として、いつまでも残っていると思います。仮設自治会の活動は、世帯の減少はあるものの、これまで同様、みんなで協力し合って盛り上げてゆこうと思っていますので、これからも、お茶会での楽しいご支援をよろしくお願いたします。



1 悲しい時でも ポレポレ  
 くやしい時でも ポレポレ  
 人生いつでも ポレポレ  
 アフリカ生まれの おまじない  
 とってもステキな言葉 Pole Pole  
 疲れた あなたの心を  
 優しく包んでくれる Pole Pole  
 忙しすぎる毎日は  
 あなたを変えてしまった  
 あなたの心と体は  
 こんなに冷たくなってしまった  
 凍った心にふりかけて  
 やさしい魔法の言葉  
 Pole Pole



2 迷った時でも サスケネ  
 困った時でも サスケネ  
 人生いつでも サスケネ  
 福島生まれの おまじない  
 とってもステキな言葉 サスケネ  
 悩んだ あなたの背中を  
 優しく支えてくれる サスケネ  
 福島原発事故は  
 全てを変えてしまった  
 あなたの心と暮らしは  
 こんなに不安になってしまった  
 塞いだあなたの心を  
 優しく開いてくれる  
 サスケネ



1994年  
 ルワンダ内戦  
 2011年  
 福島原発爆発  
 それでも  
 助け合って  
 生きてゆく



### ☆各種振替口座番号のご案内です!☆

会費振込・寄付・募金（奨学基金もよろしくお願いします。）

郵便振替口座：02290-0-97126

加入者名：NPO法人 ルワンダの教育を考える会



ゆうちょ口座自動振込み寄付 毎月月末締め切り 目標100名現在30名登録

ソーラー発電…ソーラー発電機を増やし、電力の確保をしたいと考えています。

郵便振替口座：02200-2-77634

加入者名：ルワンダ ソーラー発電P



事務局では、事務局スタッフ及び各種イベント開催時、お手伝いくださる方を随時募集しています。一緒に楽しみませんか。連絡をお待ちしています。

#### —編集後記—

1歳4ヶ月の孫が黄色い長靴をはいて小鳥のさえずりを聞きながら楽しそうにヨチヨチ歩いています。

平和と放射能は見えないけれど明日は明日の風が吹く!



#### NPO法人ルワンダの教育を考える会

理事長 カバング・マリイズ

〒960-8055

福島県福島市野田町四丁目 8-20

TEL / FAX: 024-533-8289

ホームページ: <http://www.rwanda-npo.org>

e-mail: [info@rwanda-npo.org](mailto:info@rwanda-npo.org)